

## 図書館資料論(5)

### コレクション構築

1

## 図書館コレクションとその意義

- 図書館での資料の集まり=図書館コレクション
  - 利用者の求めに応じて、外部の情報資源から選択・収集し、図書館コレクションを構築(p. 60の図)
- 「図書選択(選書)」から「コレクション構築」へ
  - 資料の多様化
  - 資料の集合体としての重要性
  - 継続的な評価プロセスの導入
    - 内容が古くなったと判断されるものなどは、コレクションから除外する(除籍)

2

## コレクション構築に影響を与える要因

- 利用者集団
  - 公共図書館であれば地域住民、大学図書館であれば学生・教職員
- 利用者のもつ情報ニーズ
  - 図書館から進んでニーズを開拓する必要もある: 最近の専門的(課題解決)情報サービスの例(ビジネス、医療、法律など)
- 経済的・物理的制約(自治体の財政状況も)
- 現有のコレクション
  - +
- 外部的環境(自治体単位での図書館ネットワークや他の「館」など)

3

## コレクション構成の館種別特徴: 法律面の検討(1)

- 法に示されたサービス内容を反映する必要がある
- 公共図書館の場合: 図書館法(2008年改正)第2条
  - 第1項: この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの(学校に附属する図書館又は図書室を除く。)をいう。
  - 第2項: 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

4

### コレクション構成の館種別特徴：法律面の検討(2)

#### ・ 図書館法第3条

図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望にそい、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

1. 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料(電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他の他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。))を含む。以下「図書館資料」という。)を収集し、一般公衆の利用に供すること。(後略)

#### ・ 図書館法第9条：政府刊行物の収集

5

### コレクション構成の館種別特徴：法律面の検討(3)

#### ・ 学校図書館法(2007年改正) 第2条

この法律において「学校図書館」とは、小学校(特別支援学校の小学部を含む。)、中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)及び高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)(以下「学校」という。)において、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料(以下「図書館資料」という。)を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによつて、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備をいう。

6

### コレクション構成の館種別特徴：法律面の検討(4)

#### ・ 大学設置基準(文部科学省令)

－ 第36条 大学は、その組織及び規模に応じ、少なくとも次に掲げる専用の施設を備えた校舎を有するものとする。ただし、特別の事情があり、かつ、教育研究に支障がないと認められるときは、この限りでない。

3. 図書館、医務室、学生自習室、学生控室

#### － 第38条

第1項：大学は、学部の種類、規模等に応じ、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備えるものとする。

第2項：図書館は、前項の資料の収集、整理及び提供を行うほか、情報の処理及び提供のシステムを整備して学術情報の提供に努めるとともに、前項の資料の提供に関し、他の大学の図書館等との協力に努めるものとする。

7

### おまけ? : 図書館内の「学生自習室」の例 (京都大学附属図書館「学習室24」)



8

## コレクション構築のプロセス

- 計画:「資料収集方針」策定の必要性
- 選択:資料の主題(+時事的状況)を理解する必要性
- 収集:「見計らい」として取次から送付される場合も
- 整理:「資料組織論(概説・演習)」でカバー
- 蓄積・保管:「**装備**」との結びつき
- 評価・再編

9

## 図書と逐次刊行物における プロセスをめぐって(p. 67-68図)

- 「検収」の重要性
- 「都度発注」と「継続発注」

10

## コレクション構築に関する研究・法 則

- ブラッドフォードの法則
  - 「特定主題に関する論文を集中的に掲載する雑誌」  
=「コアジャーナル」の存在
- 資料の老化
  - 資料が古くなるほど、その利用の程度は年々減少する
  - 「新鮮なコレクション」を保つ必要性

11

## 資料収集方針

- 「図書館の自由に関する宣言」の中の「第1 資料収集の自由」を重要指針とする
  - 「3. 図書館は、成文化された収集方針を公開して、広く社会からの批判と協力を得るようにつとめる。」
- 以下の2つを「資料収集方針」の構成要素として区分することもある(広島市立図書館の場合)
  - 収集要綱:基本的な方針
  - 選択基準:資料の主題や種類ごとの詳細な方針

12

## 資料収集方針の実例

- 広島市立図書館の「資料収集要綱」(別紙⑥)は...
  - 「図書館システム」のなかの役割分担(まんが図書館、自動車図書館を含む)
  - 広島市の特色を反映させた資料収集
  - 収集から除く資料
  - 除籍の基準
  - 「こども図書館」については別に定める
    - 「読書活動推進」にも留意

13

## 資料収集方針の実例

- 鳥取県立図書館の「資料収集方針」(別紙⑦)は...
  - 高等学校図書館、盲・聾・養護学校図書館等に対する援助と、図書館活動推進のための資料
  - 種別・目的別収集方針
    - 環日本海関係資料、特色ある資料についても含む
  - 留意事項: 出版情報の活用、「現代社会の当面する諸問題」への意識、人権・同和問題の資料...

14

## 広島市立図書館の「選択基準」 (別紙⑧)のポイント

- 分野(主題)ごとの留意点の提示
  - 特に留意する主題を細かく提示
- 収集の度合い・優先順位と、その根拠

15

## 価値論と要求論

- 要求論: 利用者の要求を基準とする
  - 価値論: 資料それ自体の価値を重視する
- ↓
- 戦後日本の公共図書館は要求論に基づき発展: 実際には「制限的要求論」?
  - 要求論のポイント
    - 戦前の「良書主義」(→「思想善導」)への傾斜を否定
    - 資料の価値をどう判断するかは利用者に委ねられるのであり、自治体が「権威」として示すべきではない
    - 貸出重視(→複本購入)

16

## 利用者とその要求

- 利用者の要求の位置づけ
  - 顕示要求: 資料の利用・貸出、リクエスト等の行動に現れる
  - 潜在要求: 明確な行動には現れない  
→コレクション構築によって潜在要求に応え、また潜在要求を引き出すことができるか?  
そこから「課題解決」へ?
- 潜在要求をどう引き出すか
  - 時事的問題の意識
  - 来館者調査、非来館者調査の実施 など... 17

## 図書館の機能と資料収集の在り方

- 以下で紹介:
  - 清家正彦「絵本『ちびくろサンボ』をどう取り扱うか: 世田谷区立図書館の取り組みの中から」『みんなの図書館』1991年1月号, p. 35-41.
  - 根本彰『続・情報基盤としての図書館』のなかの第2章「要求論の論理を構築するために」
- 背景
  - 『ちびくろサンボ』が1980年代末に「黒人差別」との批判を受けて出版停止(最近、新版発行)となった状況を受け、東京・世田谷区立図書館の児童図書館員が資料収集に関する議論を行う

18

## 図書館の機能と資料収集の在り方

1. 図書館の基本的立場  
図書館はどの資料(のどの記述)が「差別的」なのかを判断する立場にはない
2. 資料提供機能  
図書館はどんな資料であっても要求があれば提供しなければならない
3. 資料収集機能
  - 2. で述べたことにもかかわらず、図書館がすべての資料を受け入れなければならないわけではない
  - 資料収集は資料提供という目的を達成するためのひとつの手段
  - 相互協力などによって、他の館から入手することも可能 19

## 図書館の機能と資料収集の在り方 (続き)

3. 資料収集機能(続き)
- 3.1 資料収集の性格: どのような考え方に基づき、資料を収集すべきか
  - 3.3.1: 住民の資料要求の予測
  - 3.3.2: 利用者への例示
- 3.2 「予測と例示」を実際の資料収集に取り入れる  
→資料の内容に対する評価・判断は、特に「例示」の面では当然ありうる  
- 「コレクション全体の多様性」も考慮する

20

## まとめとして

- 利用者への例示は、潜在要求を引き出すためのひとつの手段として位置づけられる
  - 例示と「ブラウジング」との関係
- 「利用者の要求」とあわせて、図書館をとりまく情報環境(出版社の事情、地域の課題など)を考慮する必要もある
  - 近年の「読書振興策」への配慮も?

21

## 図書館によるニーズの開拓:総論

- 利用者の「問題解決」「課題解決」のための資料・コレクションを整備すべし、との意見(『これからの図書館像』(文部科学省, 2006)で強調)
- 「マーケティング」(ニーズの把握と、図書館外部への的確なアピール)がないと、「資料があっても利用者がいない」ということに...
  - その点で、図書館外部の諸団体との連携がポイントとなる

22

## ニーズの開拓:医療分野の場合

- 患者やその家族の立場から記述した「闘病記」を、病気ごとに分類しコレクションとして提供する
  - 「闘病記文庫」「闘病記コーナー」などの名で(鳥取県立図書館、広島市立中央図書館など)
- さらに、一般向けの医学書なども収集・提供する
- 医師会、医学図書館などとの連携の重要性
- 参照:
  - 健康情報棚プロジェクト編『からだと病気の情報をさがす・届ける』読書工房, 2004.
  - 健康情報棚プロジェクト・+からだところの発見塾編『からだといのちに出会うブックガイド』読書工房, 2008.
  - 闘病記専門古書店パラメディカ+闘病記サイトライフパレット編『病気になった時に読むがん闘病記読書案内』三省堂, 2010.

23

## 医療分野での実例: 鳥取県立図書館(新聞記事のファイリング)



24

医療分野での実例：  
鳥取県立図書館(闘病記コレクション)



25

医療分野での  
実例：  
鳥取県立  
図書館  
(健康情報  
掲示板)



26

図書館によるニーズの開拓(続き)

- ビジネス分野の場合...
  - 地域の産業育成、起業支援の側面
  - 行政の地域産業担当部門、商工会議所などと連携する必要
  - 実情は...
    - 田村俊作「ビジネス支援サービス」(田村・小川編『公共図書館の論点整理』勁草書房, 2008 所収)
    - 竹内比呂也ほか『図書館はまちの真ん中』勁草書房, 2007(静岡市立御幸町図書館の例)
  - 求められる資料としては...図書館経営支援協議会(編)『事例で読むビジネス情報の探し方ガイド』日本図書館協会, 2005

27

ビジネス分野  
での実例：  
広島県立図書館  
(ビジネス支援コー  
ナーでの書棚)



28

ビジネス分野  
での実例：  
広島県立図書館  
(情報誌・パンフレット類)



29

ビジネス分野  
での実例：  
広島県立図書館  
(情報揭示コー  
ナー)



30

### 最近の動向：「図書館海援隊」

- 労働・生活、健康、就職、子育て支援、など個人や地域の課題解決に取り組む公立図書館のプロジェクト
- もともとは「貧困・困窮者への支援」として出発
  - ハローワーク等関係部局との連携を意識
- 2011年7月12日時点で45館が参加

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/kaientai/1290067.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/kaientai/1290067.htm)

- 「公民館海援隊」プロジェクトと並行

31

### 資料自体の特徴や価値

- 3-3表(p. 80)を参照
- 特に、図書館サービスとの関連で、「誰に向けて書かれたか」への留意が必要(A.のf., g.)

32

形態面から個々の本を評価する手がかり  
(井上真琴『図書館に訊け!』p. 69-80より)

1. 図書の形態(頁数と大きさ)
2. 目次構成:目次から内容がつかめるようになっていないか
  - 現物を見なくても、出版社や書店のウェブサイトから目次が分かる場合も
3. 索引・文献目録の充実度
4. 初出の掲載誌のレベル
  - 「査読」のある学会誌か、そうではない紀要か
  - 初出がなく「書き下ろし」の場合も
5. 注・参考文献の提示の仕方

33

形態面から個々の本を評価する手がかり  
(続き)

6. 図表の典拠や充実度
7. 出版年、改版・改訂の頻度(一般的に頻度が高いものは内容の信頼性が高いとされる)
  - 初版、改訂版、増補版、第3版、.....
8. 付録や新機軸
  - 例:復刻本の場合、「解説」や「解題」があるか
9. 著者の信頼度(経歴、現職、過去の実績など)
  - 本の奥付での記載や人名事典、人名データベースを手がかりに
10. 出版社の実績・編集者の実力

34

現時点でのコレクションの特徴の評価

- 現在のコレクションの強弱を把握し、よりよいコレクションに近づける、という考え方
  - 「強弱の把握」のために、「比較対照」を行う
    - 概説書に提示された参考文献との対照
    - 『選定図書総目録』(p. 95)、『情報源としてのレファレンス・ブック』(p. 96)などのリストとの対照 など...
- 大学図書館では、「電子ジャーナル」に移し変える(印刷体での雑誌購入をやめる)かどうか、も議論となりうる
  - 費用面で、またスペース節約の面で

35

相互貸借などによる利用可能性

- 大学図書館での外国雑誌の収集体制(拠点校制度)
- 公共図書館では?
  - 都道府県単位での分担:都道府県立図書館が、市区町村立図書館を資料の面でバックアップする
  - 市区町村単位での分担:中央館と分館
- ブラウジング効果、時間的な遅れに注意

36

### 資料選択の体制・組織

- 公共図書館では、「選書会議」として担当者(図書館員)の話し合いによって資料選択を行う場合が多い
  - 広島市立図書館での「資料収集要綱」では「選択会議」として明記
  - 後述する「情報源」(リスト)や、「見計らい」として持ち込まれる書籍をもとに判断
- 「選書ツアー」を行う図書館もある
  - 利用者の代表が大規模の書店に出かけ、「利用者に読んでもらいたい本」を選ぶ
  - 実際にコレクションに取り入れるかどうかは図書館員が判断
  - 図書館による「選書の専門性」の否定、と批判する意見もある
  - 大学図書館ではかなり普及。いくつかの公共図書館も

37

### 資料選択のための情報源：概説

- 資料選択のための情報源≡出版情報
  - ただし図書・雑誌の出版に関する情報だけではなく、視聴覚資料、電子資料に関する情報も把握する必要
- 図書館にとって有用な「情報源」
  - 網羅性
  - 情報の収録の早さ
  - 掲載されている情報の正確さ
  - +
  - 内容に対する評価があるもの：選定目録や書評情報

38

### 図書に関する情報源とその補足(p. 88～)

- 基本となるのは②「出版情報誌」
  - 出版社の垣根を越えて新刊情報を提供
  - ただし「地方出版物」はカバーされにくい場合あり
    - 後述の「地方・小出版流通センターによる情報」でカバー
- 専門書であれば①「各出版社からの出版案内」でも補える
  - 出版社からの「メルマガ」等でもカバー
- ④「書評」に関する情報源は、日本では充実せず...

39

### ②「出版情報誌」

- 取次会社の分が多用される
  - テキストp. 89下～90上の3種
  - 広い範囲 + 速報性
- その他
  - 『日本全国書誌』: 網羅的だが速報性に欠ける
  - 『選定図書速報』: 一定範囲の「選定」が行われるが、これも速報性に欠ける
  - 『これから出る本』: 刊行予定図書の速報

40

### 『日本全国書誌』(p. 90)

- 国立国会図書館において、**納本制度**などを通じて収集した資料のデータ集
- 冊子体の刊行は2007年6月をもって終了、インターネット上での提供に移行
  - 国立国会図書館サイト上の「NDL-OPAC」にも反映
- 他の「網羅的情報源」との結びつき
  - JAPAN/MARC: 図書館目録用(事務用)データ
  - J-BISC: CD-ROM, DVD形態のデータベース

41

### 『日本全国書誌』ウェブ版

日本全国書誌2011年22号		日本全国書誌トップページへ	6/17掲載
<b>図書</b> の部 一般図書 官公庁出版物 民間出版物 0 総記 1 哲学 2 歴史 3 社会科学 4 自然科学 5 技術 6 産業 7 芸術 8 言語 9 文学 児童図書 国内刊行欧文図書 その他の図書 非図書資料 逐次刊行物の部 視覚障害者用資料の部 電子出版物の部 地図の部 音楽録音・映像資料の部 国内刊行アジア言語資料の部	[3 社会科学]  公共政策概観 / 佐野巨著 -- 京都 : ミネルヴァ書房, 2010.4. -- 208p ; 22cm. -- (Basic公共政策学 ; 第2巻) ISBN 978-4-623-05651-4 : 3500円 NDC(9) : 301 NDL SH : 政策学 JP : 21931403  政策研究 : 学びのガイダンス / 中道寿一編著 -- 東京 : 福村出版, 2011.4. -- 288p ; 21cm ISBN 978-4-571-41042-0 : 2800円 NDC(9) : 301 NDL SH : 政策学 -- 研究・指導 JP : 21931582  常盤外日中論 / 李小牧・加藤嘉一著 -- 東京 : メディア総合研究所, 2011.4. -- 201p ; 20cm ISBN 978-4-944124-45-9 : 1500円 NDC(9) : 302.1 NDL SH : 日本 -- 社会 ; 中国 -- 社会 ; 日本 -- 外国関係 -- 中国 JP : 21933556		

42

### 「選定図書」(p. 91, 95)のしくみ (参照: 井上『図書館に訊け!』p. 49-51+別紙⑨)

- 日本図書館協会から、約50名の選定委員を委嘱(選定の公正を期すため、委員の名前は非公開)
- 対象が明記される(幼児、児童、一般、専門家など)
- 毎週、『選定図書速報』が出される(書評紙の『週刊読書人』に再録)→年単位でまとめたものが『選定図書総目録』(2007年版よりCD-ROMとして発行)
- 出版される図書の全体の15~20%程度が「選定図書」となる
  - 「日本図書館協会選定図書」として「お墨付き」に

43

### ④書評に関して

- 『書評年報』(p. 93): 2000年で終刊
- 書評情報を手に入れるには...
  - 『出版ニュース』(旬刊)、『出版年鑑』でのリスト
  - 「書評メタ検索」  
<http://book.cata-log.com/review/index.html>

44

## ⑤全国書誌

- 「出版された図書のデータを、1年ごとにとりまとめたもの」の役割
  - 『ブックページ』『出版年鑑』
    - 前者は独自の基準で図書を分類
    - 後者は「日本十進分類法」に基づき分類。出版界の動向の解説、出版社のデータなども含む
  - 『選定図書総目録』
  - 『日本件名図書目録』

45

## ⑤販売書誌

- Books (Books.or.jp)
  - 廃刊となった『日本書籍総目録』の後継
    - 年刊の『～総目録』と異なり、平日は毎日更新
  - 「現時点で、新刊書店から入手可能な図書」の検索が可能
    - ただし検索対象は基本的に大手出版社の図書に限られる
- 「主題ごとの販売書誌」の役割
  - 『哲学思想図書総目録』『日本理学書総目録』など
  - 大手書店などで入手可能

46

## Books

The screenshot shows the homepage of Books.or.jp. At the top, there's a navigation menu with links like '検索' (Search), '詳細検索' (Advanced Search), 'ヘルプ' (Help), 'Booksリンク' (Books Links), '広告一覧' (Ad List), and '退出会員リンク' (Logout Member Link). The main content area is divided into several sections: a search box on the left, a 'What's New?' section in the center-right with a red banner for a disaster relief sale, and a 'リンク' (Links) section on the bottom left with logos for TOPPAN and E.A.S.I.

47

## 雑誌に関する情報源

- 『雑誌新聞総かたろぐ』
  - 一般雑誌(新刊書店で扱われるもの)について多用される
  - 「デジタルデータ版」は業務用のみ(図書館向けCD-ROMは刊行終了)
- 『学術雑誌総合目録』
  - 「2000年版」をもって刊行終了
  - 内容はWebcat、Webcat Plus(国立情報学研究所)に継承される

48

## 地域資料に関する情報源

- 「地方・小出版流通センター」による情報
  - 月刊誌『アクセス』
  - 年刊『あなたはこの本を知っていますか』
  - ウェブサイト  
<http://www.bekkoame.ne.jp/~much/access/actop.html>
- 新聞の地方欄をこまめにチェック
- 地域の各種団体とのつながり(医療、ビジネス関連も含め)

49

## 資料選択のための情報源:まとめると...

- これから出る本を知る:『これから出る本』、出版社のウェブサイト・メールマガジン・広告
- 今入手できる本を知る
  - 市販の分: Books
  - 古書:日本の古本屋(<http://www.kosho.or.jp/>)、および各古書店が提供する目録
- 存在する本全体を知る
  - 日本全国書誌(NDL-OPAC)、J-BISC
- 評価された本を知る
  - 書評情報
  - 選定図書速報、選定図書総目録

50

## 電子的な情報資源と図書館コレクション (テキストp. 140-142)

- 「拡張されたコレクション」という考え方
  - 図書館の外への「拡張」
  - 図書館内部で固定されているわけではないので、削除・変更によって突然利用できなくなる場合もある

51

## 「インターネット・アーカイビング」

- 国立国会図書館の「インターネット資料収集保存事業」(前述)
  - 国、自治体、国立・公立大学など公的機関のサイト: 収集・保存・館内アクセスは許諾なしでOK。ネットでの提供は許諾が必要
    - 国立国会図書館法と著作権法を2009年7月改正、2010年4月施行
  - 民間のサイト: 収集の段階から許諾が必要
- 各国の国立図書館の取り組み
- 図書館以外での取り組み
  - 米国の非営利団体“Internet Archive”  
<http://www.archive.org/>

52

The screenshot shows the Internet Archive homepage. At the top, the title "Internet Archive" is displayed in a large, bold font. Below the title is a navigation bar with links for "Web", "Moving Images", "Texts", "Audio", "Software", "Patron Info", "About IA", and "Projects". A search bar is located below the navigation bar, with a dropdown menu set to "All Media Types". To the right of the search bar, there is a login area for "Anonymous User" and an "Upload" button. The main content area is divided into several sections. On the left, there is an "Announcements" section with links to "Why Preserve Books? The New Physical Archive of the Internet Archive", "In-Library eBook Lending Program Launched", and "Digitizing All Balinese Literature". In the center, there is a "Web" section featuring a "Wayback Machine" logo and a search bar for "http://". To the right of the "Web" section is a "Welcome to the Archive" message with an "RSS" link. Below these sections, there are four "Curator's Choice" boxes, each with a "Browse" link and a "more" link. The "Moving Images" section features a "Curator's Choice" box with a "Browse" link (223,923 movies) and a "more" link. The "Live Music Archive" section features a "Curator's Choice" box with a "Browse" link (93,325 concerts) and a "more" link. The "Audio" section features a "Curator's Choice" box with a "Browse" link (904,545 recordings) and a "more" link. The "Texts" section features a "Curator's Choice" box with a "Browse" link (2,830,205 texts) and a "more" link. The "Moving Images" section includes a thumbnail for "MECHANICAL MONSTERS" and a description: "Supernan: The Mechanical Monsters. A mad scientist unleashes robots to rob banks and loot museums. Superman saves the day. Animation...". The "Live Music Archive" section includes a thumbnail for "Grateful Dead Live at Denver Coliseum on..." and a description: "Set 2 'Truckin'' -> The Other One -> Mind Left Body Jam -> Stella Blue". The "Audio" section includes a thumbnail for "Kuuleminen Asiat - 'Wires on Words'" and a description: "Kuuleminen Asiat - 'Wires on Words' suRRism-Phonethics is proud to release Kuuleminen Asiat 'Wires on Words' never measured that...". The "Texts" section includes a thumbnail for "Liberty's victorious conflict : a photographic..." and a description: "Liberty's victorious conflict : a photographic... 1 13 16".

53